



# 「人が育つ場所」としての大学—— 地域に根ざす活動・教育で 大学のプレゼンスを向上。

森脇 久隆 学長  
MORIWAKI Hisataka

## Profile

昭和26年生まれ。岐阜大学医学部医学部  
staff associate、岐阜大学講師などを経て  
同大学教授、平成18~21年度同大学医学  
部附属病院長。専門は内科学、消化器病  
学、肝臓学、腫瘍学。肝臓がんの再発リ  
スクを3分の1程度に抑える治療薬を開  
発し、平成24年度岐阜新聞大賞を受賞。  
研究のかたわら県内の医療環境の整備に  
も力を注ぐ。日本内科学会、日本消化器  
病学会、日本肝臓学会にて評議員などを  
歴任。平成26年4月岐阜大学学長に就任。

「大学に行けば何かある」と  
思えるような  
キャンパスづくりを

—はじめに、学長就任に際して抱  
負をお伺いしたいと思います。

まず、大学は「人が育つ場  
所」であるということが第一で  
す。そのために、岐阜大学のモツ  
トである地域に根ざすこと、  
そして「学び、究め、貢献する」  
国立大学であることを強調しつ  
つ、さらに大学のプレゼンス(存  
在感)を向上させていくことが  
一番の抱負だと考えています。  
第二に今年、岐阜大学は国立  
大学第二期中期計画の5年目  
に入ります。第二期計画では大  
学の存在を高めることが目標で  
したが、2年後にはさらに大学  
の特徴を打ち出していく第三期  
中期計画に入ります。この第三  
期計画の準備を早めに始めよ  
うと考えています。

—「人が育つ場所」とはどのよう  
な場所だとお考えでしょうか。

ただ勉強するだけではなく  
クラブ活動も盛んにするなど、  
「大学に行けば何かある」とい  
う環境がある大学だと思います  
ね。例えば、現在改装中の図書  
館には学生が主体となって何か  
行えるようなホールを造りたい

と考えていますし、とにかく教  
室だけではなくいろいろな施設  
がある、学生にとって大学に通  
うことが楽しい環境をつくりた  
いですね。

**知識や学問の中核機能を  
さらに発展させ、養った力を  
国内外へ発信していきたい**

—学長が考える「地域に根ざす」  
とはどういうことでしょうか。

医学部と附属病院は地域医  
療そのものであり、地域に根  
ざすひとつの形だと思えます。  
また、工学部は中部国際空港開  
設など、これまで中部地区の土  
木計画に参画してきた実績が  
あります。近々、岐阜県中央家  
畜保健衛生所が学内に移設さ  
れ、県の農業や産業の研究の中  
心としての存在意義もさらに  
高まります。このように地域  
と連携した多くのプロジェクト  
が進行中ですし、こうした活  
動を地域の方々に知っていた  
だくことはとても大切だと考  
えています。

平成25年度には文部科学省の  
「地(知)の拠点整備事業(大学  
COCC(Center of Community  
事業))」を獲得しました。地域  
との対話を通して、ますます地  
域を志向する人材育成や研究を  
進めていく予定です。

こうしたことを踏まえて、知  
識や学問の中核機能を発展さ  
せ、ここで養った力を国内外へ発  
信していきたいと思えます。そ  
のためには県や市、多くの大学  
と連携を取りつつ活動を広めて  
いきたいと考えています。

また、公開講座や岐阜大学  
フォーラムなどを通して、地域の  
方々が大学で学ぶ機会を作り、  
地域に貢献することも、地域に  
根ざすことだと考えています。

—国際貢献など、大学のグローバ  
ル化はどのように進められる  
予定ですか？

現在、大学ではおよそ300  
人の外国人が学び、仕事をして  
います。また中国やバングラーデ  
シュには岐阜大学の海外オフィ  
スもあるので、こうした海外連  
携の組織化をもっと進めてい  
きたいと思えます。昨年度には  
南アジア地区10大学と教育連  
携コンソーシアムを結成しまし  
た。英語だけで授業を受けられ  
るコースも開設して、より多く  
の留学生を受け入れていきたい  
と考えています。

今の学生は昔に比べておとな  
しく、留学したいという学生も  
減少しています。若い時期に外  
国で学び、さまざまな人種や文  
化と触れ合うのは大切なことで  
す。大学では留学希望者を援

助するプログラムを設け、支援  
を行っています。

—岐阜大学の強みとはどのよう  
なところにあるのでしょうか。

やはり全学部が大ききひとつ  
のキャンパスに集まっている  
ということでしょう。ここが岐  
阜県の総合的な高等教育の中  
心であるという意義は大きい  
です。ただし駅から少し遠い  
ため、現在はJR岐阜駅前の高  
層ビル「岐阜スカイウイング  
37」にサテライト・キャンパ  
スを開校しています。郊外の  
ワンキャンパス、そして駅前の  
キャンパスで講義を受けられ  
るということをもっと強みに  
していきたいと考えています。

—それでは、最後に学生へメッ  
セージをお願いします。

岐阜大学は中規模総合大学で  
あり、幅広い学問が学べます。先  
ほどもお話ししましたが、全学部  
がワンキャンパスにあるため自  
分の学部だけではなく、他学部  
の講義を聴くことも可能です。  
大学4年間は人生の本当の  
意味での始まりです。その大  
切な時期にこの豊かな環境で  
学び、究め、地域や社会、世界  
に貢献できる人になってほし  
いと願っています。